

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年7月26日
【四半期会計期間】	第46期第1四半期（自平成24年3月16日 至平成24年6月15日）
【会社名】	株式会社カワチ薬品
【英訳名】	CAWACHI LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 河内 伸二
【本店の所在の場所】	栃木県小山市大字卒島1293番地
【電話番号】	0285(37)1111
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 小松 順嗣
【最寄りの連絡場所】	栃木県小山市大字卒島1293番地
【電話番号】	0285(32)1131
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 小松 順嗣
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第1四半期連結 累計期間	第46期 第1四半期連結 累計期間	第45期
会計期間	自平成23年 3月16日 至平成23年 6月15日	自平成24年 3月16日 至平成24年 6月15日	自平成23年 3月16日 至平成24年 3月15日
売上高(百万円)	52,295	56,391	222,322
経常利益(百万円)	2,526	1,987	10,579
四半期(当期)純利益(百万円)	1,068	1,216	4,417
四半期包括利益又は包括利益(百万円)	1,069	1,198	4,430
純資産額(百万円)	87,790	90,700	90,448
総資産額(百万円)	171,532	174,102	170,106
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	44.35	51.40	185.22
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	51.1	52.1	53.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第45期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結会計期間（平成24年3月16日～平成24年6月15日）におけるわが国経済は、復興需要を背景として緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、欧州信用不安の拡大から世界景気の減速が懸念され円高が進行する等、先行き不透明なまま推移しました。

当社グループが属するドラッグストア業界におきましては、昨年の震災後の生活関連用品等の需要増による反動減及び例年に比べて花粉の飛散量が減少したことによる花粉関連商材等の需要減があったこと等、厳しい環境が続きました。

このような中、当社グループでは、高齢化社会に対応する専門機能を強化したヘルスケアセンター（調剤併設型店舗）の補完となるサテライトタイプ（小商圈対応型）店舗の出店に注力いたしました。また、生活者医療の担い手となる地域密着型店舗づくりを推進するため、予防と治療にフォーカスした品揃えの強化及び健康や美容に関するカウンセリング機能の強化に努めてまいりました。

新規出店につきましては、ドミナントエリア強化のため、サテライトタイプの店舗を中心に既存地区である茨城県、群馬県、埼玉県、福島県、長野県に各1店舗ずつ計5店舗を出店いたしました。また、調剤薬局につきましては、宮城県の既存店舗に1件併設いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は563億91百万円（前年同期比7.8%増）となりました。また、昨年の震災以降、販促自粛に伴い広告宣伝費が抑制された反動増があったことや新規出店を例年より増加させたことから販売管理費が一時的に押し上げられたこと等により、営業利益は18億25百万円（同24.0%減）、経常利益19億87百万円（同21.3%減）、四半期純利益につきましては、12億16百万円（同13.9%増）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,741億2百万円（前期末比39億95百万円増）となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

負債合計は834億2百万円（同37億43百万円増）となりました。これは主に長期借入金及び買掛金の増加によるものであります。

純資産合計は907億円（同2億51百万円増）となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は52.1%（同1.1ポイント減）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	52,000,000
計	52,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月15日)	提出日現在発行数(株) (平成24年7月26日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	24,583,420	24,583,420	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	24,583,420	24,583,420		

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成24年7月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成24年3月16日～ 平成24年6月15日	-	24,583,420	-	13,001	-	14,882

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月15日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

（平成24年6月15日現在）

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 911,100	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 23,669,400	236,694	-
単元未満株式	普通株式 2,920	-	-
発行済株式総数	24,583,420	-	-
総株主の議決権	-	236,694	-

（注）「単元未満株式」の欄の普通株式には当社所有の自己株式24株が含まれております。

【自己株式等】

（平成24年6月15日現在）

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
（自己保有株式） 株式会社カワチ薬品	栃木県小山市大字 卒島1293番地	911,100	-	911,100	3.70
計	-	911,100	-	911,100	3.70

（注）当第1四半期会計期間末の自己株式数は、911,124株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年3月16日から平成24年6月15日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年3月16日から平成24年6月15日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月15日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,009	28,144
売掛金	1,564	1,602
商品	20,097	22,151
貯蔵品	11	12
その他	4,587	3,230
流動資産合計	51,270	55,139
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,088	41,111
土地	58,706	58,706
その他(純額)	2,607	2,791
有形固定資産合計	102,403	102,609
無形固定資産		
その他	4,859	4,784
無形固定資産合計	4,859	4,784
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,730	8,689
その他	2,842	2,879
投資その他の資産合計	11,573	11,568
固定資産合計	118,836	118,962
資産合計	170,106	174,102
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,721	34,734
短期借入金	11,643	12,068
未払法人税等	2,523	894
賞与引当金	872	1,509
その他	4,069	4,934
流動負債合計	51,830	54,141
固定負債		
長期借入金	20,492	21,798
退職給付引当金	4,739	4,831
資産除去債務	1,575	1,596
その他	1,019	1,033
固定負債合計	27,827	29,260
負債合計	79,658	83,402

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月15日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,001	13,001
資本剰余金	14,882	14,882
利益剰余金	64,120	64,390
自己株式	1,584	1,584
株主資本合計	90,419	90,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	25
その他の包括利益累計額合計	7	25
新株予約権	36	36
純資産合計	90,448	90,700
負債純資産合計	170,106	174,102

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月16日 至平成23年6月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月16日 至平成24年6月15日)
売上高	52,295	56,391
売上原価	40,026	44,001
売上総利益	12,269	12,390
販売費及び一般管理費	9,867	10,564
営業利益	2,401	1,825
営業外収益		
受取利息	12	11
協賛金収入	33	41
受取手数料	117	130
受取賃貸料	113	119
その他	27	34
営業外収益合計	304	337
営業外費用		
支払利息	89	75
支払手数料	29	31
賃貸収入原価	33	37
その他	27	29
営業外費用合計	179	174
経常利益	2,526	1,987
特別損失		
固定資産除却損	0	10
災害による損失	19	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	657	-
投資有価証券評価損	-	1
特別損失合計	678	12
税金等調整前四半期純利益	1,848	1,975
法人税等	780	758
少数株主損益調整前四半期純利益	1,068	1,216
四半期純利益	1,068	1,216

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月16日 至平成23年6月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月16日 至平成24年6月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,068	1,216
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1	18
その他の包括利益合計	1	18
四半期包括利益	1,069	1,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,069	1,198
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月16日 至 平成24年6月15日)
(税金費用の計算) 税金費用の計算において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月16日 至 平成24年6月15日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月16日 至平成23年6月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月16日 至平成24年6月15日)
減価償却費	1,091百万円	1,086百万円
のれんの償却額	46	-

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月16日至平成23年6月15日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月8日 定時株主総会	普通株式	963	40	平成23年3月15日	平成23年6月9日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月16日至平成24年6月15日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月12日 定時株主総会	普通株式	946	40	平成24年3月15日	平成24年6月13日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月16日 至平成23年6月15日)

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨及び一般食品等の販売をする小売業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月16日 至平成24年6月15日)

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨及び一般食品等の販売をする小売業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月16日 至平成23年6月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月16日 至平成24年6月15日)
1株当たり四半期純利益金額	44円35銭	51円40銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,068	1,216
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,068	1,216
普通株式の期中平均株式数(株)	24,082,359	23,672,296

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月26日

株式会社カワチ薬品
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 前原 一彦 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 小杉 真剛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カワチ薬品の平成24年3月16日から平成25年3月15日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年3月16日から平成24年6月15日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年3月16日から平成24年6月15日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カワチ薬品及び連結子会社の平成24年6月15日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。